

県内で感染が拡大しています

朋友会の
コロナ対策

202011月30日
理事長 平根 朋幸

自身や家族を守る行動を

<(例)通勤・通学・通院等>

- 移動時(公共交通機関)は **マスクを着用**
- 公共の場での **会話は控えめに**
- 建物に入る際は必ず **消毒**



<(例)日用品の買い物等>

- 移動時(公共交通機関)は **マスクを着用**
- 計画を立てて **短時間**で
- **少人数**で行動
- 建物に入る際は必ず **消毒**



<(例)必要な外出時の外食等>

- お店に入るときは必ず **消毒**
- **空いてる時間**に利用
- **対面を避ける**
- **少人数**で **短時間**の利用
- **会話を**する際は **マスクを着用**



かかった人を絶対に責めない!

感染対策(三密を避け、手洗い、マスク)をしっかりとやっていて、細心の注意を払っていても、感染してしまうことがあります。朋友会から感染者が出ても責めてはいけません。感染者が出た場合は、理事長から正式に報告します。職員が憶測的に発信は避けてください。

体調の悪い時は、まず理事長に相談して

「体調が悪いとき」や「不安でPCR検査を受けたいとき」は、まず理事長に相談してください。陽性が出てからの対処では対応が遅れてしまいます。職員、利用者を守るため、行政や保健所と連携をとるため、早め早めに相談してください。

新型コロナウイルス対策をもう一度確認しましょう

① 感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



② 仕事中の対策

- 全職員が屋内ではマスクを着用します。（屋外であっても会話中はマスクを着用します。）
- 来所者には「検温・手指消毒」を事業所・ホームの玄関で行います。
- 今年度内の法人内外行事イベントは休止致します。（研修、会議、朝夕礼は含みません。）
- 事業所・ホーム内の「消毒（手がよく触れる箇所）と換気」を1時間毎に行います。
- 送迎後に送迎車を消毒します。
- 食事準備作業を行う場合は「三角巾、エプロン、マスク」を着用します。
- 利用者の食事前の手洗いを徹底して促します。
- 利用者が手洗いをする際に職員が担当で1名付きます。
- 小作業室・放テイの利用者はその場で食事をとります。（大作業室の利用者も一部対象）
- 食堂では座席の間隔を1つ空け向かい合って座らないなどの配慮をします。
- 休憩中のお茶は、使い捨ての紙コップを使用します。
- 出勤前と出勤後業務に入る前に必ず検温します。

③ 移動の自粛について

- GOTOトラベル除外地域（札幌市、大阪市）への不要不急の移動・滞在については自粛をお願いします。東京都への移動・滞在は引き続き注意してください。
- 感染拡大市町村（土浦、つくば、つくばみらい、牛久、取手、境、阿見、かすみがうら）への不要不急の移動・滞在については自粛をお願いします。